

# 「安全な場所」へ 避難しましょう！！

地震に限らず、大雨や台風などによる風水害が発生した際は、自らの命を守るために、「安全な場所」へ避難することを検討してください。

## 1. 自宅の上階等への避難もご検討ください！

「避難」とは「難」を「避」けること、つまり自らの安全を確保することであり、小中学校等の避難所以外にも安全を確保できる場所があります。

市が発行している各種ハザードマップにより、自宅の災害の危険性をご確認いただき、避難が必要な場合、自宅の上階等への避難や、親戚や知人の家等に避難することもご検討ください。

※詳しくは、このリーフレットの裏面をご覧ください。



ハザードマップで災害の危険性を確認

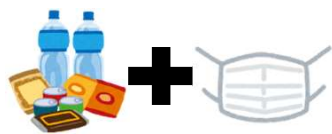


自宅の上階への避難も検討

## 2. 避難所へ避難する際は、次の点にご注意ください！

避難所など自宅以外の場所へ避難をする際は、次の点にご注意ください。

- ① 食料や飲料水に加えて、感染症対策のためマスクなどの衛生用品を持参してください。
- ② ペットと避難する際はケージに入れてください。避難所には動物が苦手な方もいます。
- ③ 車での移動は、冠水等により身動きが取れなくなる可能性があり危険です。
- ④ 台風や大雨などにより一時的に避難する場合は、お住まいの地域によらず、ご自身が安全に避難できる避難所を利用することができます。



①マスクなどの衛生用品を持参



②ペットはケージへ



③車での移動は危険



④地域によらず、安全に避難できる避難所へ

## 3. 事前の情報収集が大切です！

避難のために必要な情報は、テレビやラジオのほか、ホームページ等からも確認できます。次の二次元コードからアクセスするか、検索サイトなどで検索してください。

「ひらつか防災気象ウェブ」



気象情報等を確認できます

「ひらつかわくわくマップ」



各種ハザードマップを確認できます

裏面にもお知らせがあります！

# 日頃から「避難行動」を 確認しましょう！！

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害の危険性と、取るべき行動を確認しましょう。

## ●台風や大雨に備えた避難行動

**スタート！**

洪水ハザードマップで自宅の位置を確認しましょう。

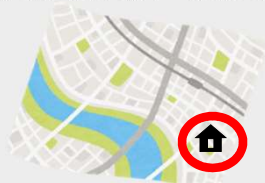


「防災ひらつかチャンネル」



ハザードマップの見方を動画で  
わかりやすく解説しています。

自宅又は周辺に色が塗られていますか？



いいえ

浸水する恐れは少ないですが、万が一に  
備えて、情報収集に努めてください。



はい

併せて確認

- ① 浸水深が自宅の最上階の床上を超えますか？
- ② 家屋等倒壊氾濫区域又は長期間浸水（3日以上）する区域に入っていますか？



はい

土砂災害ハザードマップを確認し、  
自宅周辺に色が塗られている場所（土砂  
災害警戒区域）がある場合、近隣の避難  
所若しくは、親戚や知人の家、自宅の上  
階で崖の反対側の部屋などへの避難を検  
討してください。



いいえ

併せて確認

近隣の避難所若しくは、親戚や知人の家等への  
早めの避難を検討してください。



自宅の最上階への避難を検討してください。  
浸水継続時間を参考に、飲料水、食料等を  
備蓄しておいてください。また、断水に備えて  
携帯トイレ（便袋）等を用意しましょう。

